

各 位

会 社 名 宇部エクシモ株式会社
 本社所在地 東京都中央区日本橋富沢町9番19号
 問 合 せ 先 総務部長 多 田 厚 美
 TEL 03-6667-2411

FRP パイプ『コンポーズ®』を全面使用した牡蠣養殖用筏(いかだ)の拡販について

宇部エクシモ株式会社（社長：高橋俊充）のFRP（繊維強化プラスチック）パイプ「コンポーズ」を全面に使用した牡蠣養殖用筏（ALL「コンポーズ」牡蠣養殖用筏）の採用が増加している。

「コンポーズ」は、独自の連続引抜成形法で生産されるFRPパイプで、金属パイプや木材に比べて、軽量で作業性に優れ、錆びや腐食がなく耐久性に優れることから、水産用途では牡蠣養殖筏をはじめ、海苔養殖支柱、養殖生簀杵、繫留支柱、ボンデン（漁具の浮標）などに幅広く使用されている。

従来の牡蠣養殖筏は、竹や間伐材等の木材を使用しているが、均質ではない天然素材を用いて筏を組み上げるには熟練した技術を要するため、専門の筏業者に依頼するのが一般的である。しかし近年、筏業者の高齢化による人材不足、材料となる筏に適した木材の入手が難しいなど課題も多い。一方、「コンポーズ」を使用した筏は木材の重量の1/2と軽量で、またFRPパイプと専用のジョイント部材からなるユニット式であるため、専門業者でなくとも短時間での組立が可能である。

「コンポーズ」は竹や木材に比べ高額であるため、部分的に安価な竹、木材を使用し、木材部分だけを数年おきに取り替える方法を取っている筏もある。しかし、「コンポーズ」は腐食の心配がないことから耐久性にも優れ、木材の筏の寿命が5年程度であるのに比べ、全面に「コンポーズ」を使用した筏は15年程度の使用が見込まれ、メンテナンス性の向上にも寄与する。また長いサイクルでの使用が可能なることから廃材が出にくいという利点がある。また、パイプの表面にヒダ状のくぼみを施しており、水に濡れても竹や木材の筏のように滑らず安全に洋上作業ができ、しなやかな「しなり」と「もどり」を有し、安定感もあるのが特徴である。

地域や水産物の品目によっては、生産者の利便性に貢献する資材として、行政などの普及支援が受けられるケースもあり、全面的に「コンポーズ」を使用した筏の採用が増えている。牡蠣養殖筏向けで2020年度に5億円の売上を目指す。



水産用「コンポーズ」



「コンポーズ」を全面使用した牡蠣養殖用筏